



報道関係者各位
プレスリリース

発行：2008年8月21日 修正：2008年9月11日
インタラクティブ東京組織委員会 / IVRC 実行委員会

SIGGRAPH 直送 日本が誇る世界最高のインタラクティブ技術の実演展示イベント
/ 学生の自由なバーチャルリアリティ技術を形にする国際コンテスト

「インタラクティブ東京 (i-tokyo2008) /
国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト (IVRC2008)」
2008 年度開催のご案内

9月13日(土)・14日(日) 10:00~17:00
日本科学未来館 1階 企画展示ゾーンb

拝啓 晩夏の候 貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、インタラクティブ東京組織委員会（組織委員長：館 暲 東京大学 教授、実行委員長：館 暲 東京大学 教授）及び IVRC 実行委員会（実行委員長：館 暲 東京大学 教授）では、学生の自由な発想により産み出されたバーチャルリアリティ（VR）作品で日本一を競う『第 16 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト』（IVRC2008）に併せ、世界最高のインタラクティブ技術を無料で体験できるイベント『インタラクティブ東京 2008』（i-tokyo2008）を、今年も開催する運びとなりました。

IVRC2008 ではインスタレーション部門 10 作品、ハンズオン部門 7 作品、インタラクティブ東京では 19 作品の参加体験型のデモンストレーションを、9 月 13 日（土）・14 日（日）の 2 日間、日本科学未来館 1 階にて実施いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご来場を賜りますようお願い申し上げます。なお、ご取材のお申し込みに関しては、運営上 IVRC、i-tokyo 共に 1 階受付にて対応させていただきます。

敬 具

インタラクティブ東京組織委員会 / IVRC 実行委員会

記

イベント名 インタラクティブ東京 (i-tokyo2008)
/第 16 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト
(IVRC2008)

日 時 2006 年 9 月 13 日 (土)・14 日 (日) 10:00~17:00

・インタラクティブ東京

作品展示 13 日 (土)・14 日 (日) 10:00~17:00

・第 16 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト

作品展示 13 日 (土)・14 日 (日) 10:00~17:00

審査員審査 13 日 (土) 10:00~15:00

表彰式 13 日 (土) 17:00~17:30

会 場 日本科学未来館 1 階 企画展示ゾーン b

所在地：東京都江東区青海 2 丁目 41 番地

電 話：03-3570-9151

交 通：新交通ゆりかもめ

「船の科学館駅」下車、徒歩約 5 分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約 4 分

関連ページ i-tokyo <http://interactivetokyo.jp/2008/>
IVRC <http://ivrc.org/2008/>

<インタラクティブ東京とは？>

近年、文化庁メディア芸術祭など、メディア芸術を目にする機会が増えてきました。しかし、バーチャルリアリティ（VR）やインタフェース技術などのメディア芸術の要となる「インタラクティブ技術」に焦点を当てた一般向けの展示イベントは、残念ながらほとんど開催されておられません。

また、例えば米国では、毎年CG・インタラクティブ技術の祭典SIGGRAPHが開催され、そのNew Tech Demo部門で日本人が大活躍しているのですが、海外のインタラクティブ技術に関する学会や展示会における日本人研究者の活躍には目覚しいものがあるにもかかわらず、国内においてはそれらの作品を展示公開する機会がほとんどありませんでした。

このような背景に鑑み、インタラクティブ東京組織委員会では「インタラクティブ東京」（i-tokyo）を2005年度から日本科学未来館において開催いたしております。世界の最高レベルの「インタラクティブ技術」に関する実演展示を行ない、これにより一般への広い認知と、国内の研究者・開発者のモチベーション向上を図るとともに、やがては世界的なインタラクティブ技術の祭典とする事を目指しております。

会場では、最先端のインタラクティブ技術の研究成果と、クリエイターたちのアイデアと感性、ゲーム感覚や遊び心がミックスされた「参加体験型」のデモンストレーションやアート&エンターテインメント作品を展示いたします。

幼い頃からパソコンやCG映像に慣れ親しんでいる小・中学生や、家族連れ、映像クリエイターを目指す若者、さらには、ゲーム・エンターテインメント業界や情報通信・映像関連の関係者・研究者まで、幅広い世代やジャンルの人々が楽しくインタラクティブ技術を体感できるイベントです。

<国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト (IVRC) とは？>

IVRCとは、International collegiate Virtual Reality Contestの略で、学生が手作りで制作したバーチャルリアリティやロボットといった先端技術を用いたインタラクティブな作品のコンテストです。1993年より開催されています。

2004年度からは、フランスLaval市で行なわれているLaval Virtualという欧州最大のバーチャルリアリティ展示・講演会の学生コンテストにおいて優秀な成績を収めたチームを招待し、活動を国際的に広げております。

また、IVRCでは、世界最高峰のVR技術の展示会SIGGRAPHや、VRアート作品の展示会Ars Electronicaなどに採択される作品をこれまでに数多く輩出しています。

SIGGRAPHにおいては、過去3年間にIVRC作品から8件が採択されました。

詳しくは公式サイトをご覧ください。（<http://ivrc.org/>）

「バーチャルリアリティ」や「ロボット」と聞くと高価で特殊な機械を使って実現するものだとイメージされがちですが、実際には手作りの装置で実現できることもたくさんあります。このコンテストは、学生の参加者がインタラクティブ(相互作用的)なシステムを企画し、デバイスを

自作し、コンテンツを作り込むことによって、インタラクティブ技術を深く理解し、より身近なものに感じることを目指しています。

そうした意味からは、IVRC は、コンテストという形態を取ってはいますが、地域・企業・学会が一体となって「自ら考え・学び・手を動かすことのできる」優秀な人材を育成する 21 世紀型の教育システムの試みでもあるのです。

会場では、書類審査とプレゼンテーション審査の難関を勝ち抜いてきたインスタレーション部門・ハンズオン部門 東京予選作品の実演展示が行われ、第一線のアーティストや学識経験者による審査を経て、晩秋に岐阜県各務原市で開催される本選大会への出場作品が選ばれます。

学生ならでは、という視点で作られた出展作は、VR という分野にこれまで触れたことのない来場者にも楽しく体験していただける、意外性や新規性に富んだコンテストです。

<見どころ>

今年の i-tokyo は、本年度の SIGGRAPH2008 New Tech Demo から「UlteriorScape」、「ForceTile」、「Stop Motion Goggle」、「Emotional Touch」、「Perception-Based High Definition Haptic Rendering」、「Infinite 4D Fish」、「MeisterGRIP」、「空中超音波触覚ディスプレイ」、「二次元通信」、「Copycat Arm」、「虫 HOW? (Ants in the Pants)」、「LimpDual Touch」の 12 作品が出展いたします。その中でも「虫 HOW?」は、腕の上を虫が這う感覚を再現したという問題作であり、昨年の IVRC2007 の優勝からフランス Laval Virtual2008、SIGGRAPH2008 を経ての展示となります。また、今年も東大 館研究室の世界で唯一、裸眼で 360 度立体視が可能なディスプレイ、「TWISTER」の展示を行います。

「インタラクティブ東京/IVRC 東京予選大会」に関するお問い合わせ先

■事前のお問い合わせ (9月12日まで)

日本バーチャルリアリティ学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-28-3 山越ビル 301 号室
TEL:03-5840-8777 FAX:03-5840-8766 担当：猪瀬，田中

■当日のお問い合わせ (9月13日・14日)

会場受付にて承ります。
電子メール：ivrcinfo@ivrc.net
ホームページ： <http://interactivetokyo.jp/>
<http://ivrc.net/>

参考資料 1

■i-tokyo / IVRC 概要

イベント名 インタラクティブ東京 / 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト
日 時 9月13日(土), 14日(日) 10:00~17:00

会 場 日本科学未来館 1階 企画展示ゾーンb
所在地: 東京都江東区青海2丁目41番地
電 話: 03-3570-9151
交 通: 新交通ゆりかもめ
「船の科学館駅」下車、徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

入 場 無 料

運 営

・インタラクティブ東京

主 催 インタラクティブ東京実行委員会
共 催 日本バーチャルリアリティ学会, 芸術科学会, 情報処理学会 CVIM
研究会, 電子情報通信学会 MVE 研究会, 情報メディア学会,
情報処理学会 EC 研究会
後援 文部科学省, 経済産業省
運営 インタラクティブ東京実行委員会

・国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト

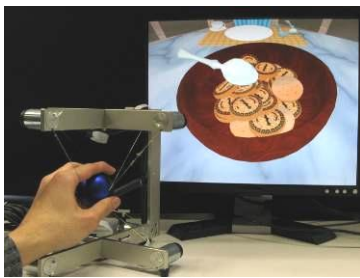
主 催 IVRC 実行委員会 (日本バーチャルリアリティ学会,
岐阜県, 各務原市)
後 援 経済産業省, 文部科学省, フランス大使館科学技術部
協 賛 株式会社アールアールジェイ, 株式会社大垣共立銀行,
株式会社クレッセント, 株式会社ビュープラス,
株式会社VRテクノセンター, 川崎重工業株式会社, 岐阜信用金庫,
三徳商事株式会社, 株式会社フロム・ソフトウェア, 他

参考資料2

インタラクティブ東京 出展作品

出展者	作品名
慶應義塾大学, 東京大学	UteriorScape
慶應義塾大学, 東京大学	ForceTile
電気通信大学, 東京大学, 慶應義塾大学	Stop Motion Goggle
電気通信大学	Emotional Touch
電気通信大学, 東京工業大学	Perception-Based High Definition Haptic Rendering
東京大学	Infinite 4D Fish
東京大学	MeisterGRIP
東京大学	空中超音波触覚ディスプレイ
東京大学, 株式会社セルクロス	二次元通信
岐阜大学	バーチャル解剖模型
筑波大学	Copycat Arm
東京工業大学	Heaven's Mirror
東京大学	TWISTER V
電気通信大学	虫HOW?
東京大学	Ukiyo-engine
金沢工業高等専門学校, 明治大学	Wind Stage
東京大学, 慶應義塾大学	LimpiDual Touch
首都大学東京, 日本電子専門学校	硬軟ディスプレイ「マグネットスフィヤー」
東京大学	Orpheus 歌詞の韻律に基づく自動作曲システム

作品画像 (抜粋)



Perception-Based High Definition
Haptic Rendering



虫 HOW?



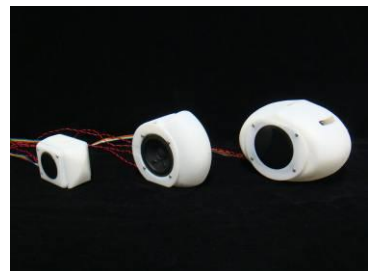
Copycat Arm



LimpiDual Touch



Wind Stage



Emotional Touch

確認 FAX 用紙

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、下記にご記入のうえ、9月12日(金) 17:00までに FAX でご返送頂きますようお願い申し上げます。

お手数をおかけして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願いいたします。

返送先 FAX 番号：**03-5840-8766**

「インタラクティブ東京 / IVRC 東京予選大会」

■日時：9月13日(土) 14日(日) 10:00～17:00

■会場：日本科学未来館

ご出席

ご欠席

貴社名	
メディア名または部署名	
ご芳名	
ご連絡先 TEL	
FAX	
※会期中(9月13日～14日) 取材のご希望について	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 9月13日(土) 10:00～18:00 <input type="checkbox"/> 9月14日(日) 10:00～17:00 <input type="checkbox"/> 希望しない

メモ/連絡欄
